



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月9日

上場会社名 株式会社 ニレコ

上場取引所 東

コード番号 6863 URL <http://www.nireco.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保田 寿治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部門長 (氏名) 裕 光司 TEL 042-642-3111

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	5,449	9.8	381	41.1	452	52.2	294	68.7
29年3月期第3四半期	4,962	3.6	270	21.4	297	21.0	174	33.4

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 624百万円 (141.9%) 29年3月期第3四半期 258百万円 (5.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	39.76	39.48
29年3月期第3四半期	23.85	23.71

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	13,858	12,330	88.1
29年3月期	14,127	11,817	82.9

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 12,214百万円 29年3月期 11,713百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		10.00		10.00	20.00
30年3月期		10.00			
30年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,000	8.1	620	15.4	720	25.8	500	35.6	67.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	8,305,249 株	29年3月期	8,305,249 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

30年3月期3Q	889,236 株	29年3月期	946,175 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	7,395,636 株	29年3月期3Q	7,307,602 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項はP.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国や欧州においては着実な景気回復が続き、また、中国においては景気が持ち直す動きとなり、総じて改善傾向で推移しました。わが国経済も堅調な設備投資や個人消費の伸びに支えられ、回復基調が続きました。

当社グループ（当社及び連結子会社）の主要取引先であります鉄鋼業、化学工業、印刷・紙加工業、電子部品メーカー、食品メーカーなどの設備投資に向けた動きは、需要の伸びを背景に堅調に推移しました。

このような状況の下、当社グループは、いかなる環境下においても成長できる体制の実現を目指し、海外販売の拡大、食品関連市場の開拓を進めるとともに、当社グループが設立以来培ってきたセンシング及び画像処理技術の強化に注力しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高5,449百万円（前年同期比109.8%）、営業利益381百万円（前年同期比141.1%）、経常利益452百万円（前年同期比152.2%）、親会社株主に帰属する四半期純利益294百万円（前年同期比168.7%）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① プロセス事業

当事業の主要取引先であります鉄鋼業界は、世界的な鋼材需給バランスが改善傾向にある中、設備投資需要についても復調の兆しが見られました。このような状況の下、当社グループは、国内については、生産継続に欠かせない老朽設備の修理・更新や部品販売といったメンテナンス需要の取り込みに引き続き注力するとともに、鉄鋼製品の品質と生産効率向上につながる製品群の積極的な提案に努めました。また、海外については、アジア諸国の高級鋼材メーカーにおけるシェア拡大に向けた子会社の環境整備や顧客開拓を進めました。

その結果、当事業の売上高は1,974百万円（前年同期比109.9%）、セグメント利益は388百万円（前年同期比149.5%）となりました。

② ウェブ事業

当事業の主要取引先であります高機能フィルム業界は、フラットパネルディスプレイや二次電池需要の拡大に伴う電子部品の増産に向けた設備投資が底堅く推移しました。もう一方の主要取引先であります印刷業界は、食品向け軟包装市場の設備投資が堅調に推移しました。このような状況の下、当社グループは、高機能フィルム業界並びに食品向け軟包装市場へ向けて位置制御装置などの販売や修理・整備、部品販売などのサービス需要獲得に注力するとともに、生産能力の増強を進めました。

その結果、当事業の売上高は2,413百万円（前年同期比113.6%）、セグメント利益は586百万円（前年同期比149.1%）となりました。

③ 検査機事業

当事業の主要取引先であります高機能フィルムや電子部品業界は、主にフラットパネルディスプレイや二次電池向けの堅調な需要を背景に、品質検査装置の設備投資が底堅く推移しました。もう一方の主要取引先であります食品関連業界は、食の安全・品質に対する意識の高まりにより、食品検査装置に対する需要の拡大傾向が続きました。このような状況の下、当社グループは、高機能フィルムや電子部品業界などに対し、無地検査装置の豊富なラインアップによる提案を進めました。また、食品関連業界に対し、潜在需要の開拓に向けて外観検査装置の積極的な提案に努めました。

その結果、当事業の売上高は940百万円（前年同期比91.8%）、セグメント損失は28百万円（前年同期はセグメント損失12百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べて268百万円減少し、13,858百万円となりました。これは主に投資有価証券の増加384百万円、商品及び製品の増加101百万円があったものの、現金及び預金の減少478百万円、受取手形及び売掛金の減少194百万円、建物及び構築物の減少66百万円などがあった事によります。

また、負債は前連結会計年度末に比べて781百万円減少し、1,528百万円となりました。これは主に繰延税金負債の増加117百万円、その他流動負債の増加88百万円、支払手形及び買掛金の増加24百万円の増加があったものの、長期借入金の減少683百万円、未払消費税等の減少149百万円、未払費用の減少111百万円があった事によります。

純資産は前連結会計年度末に比べて513百万円増加し、12,330百万円となりました。これは主に時価上昇によるその他有価証券評価差額金の増加291百万円及び利益剰余金が配当により148百万円減少したが親会社株主に帰属する四半期純利益294百万円により145百万円増加したことがあった事によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、第3四半期連結累計期間までの状況が以降においても継続すると思われるものの、景気の先行きに不透明な要因が存在するため、平成29年11月10日に公表した前回予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,130,803	4,652,705
受取手形及び売掛金	3,007,477	2,812,579
有価証券	14,164	-
商品及び製品	821,943	923,369
仕掛品	353,250	406,487
原材料及び貯蔵品	396,934	462,172
繰延税金資産	143,787	151,152
その他	144,576	159,248
貸倒引当金	△23,664	△22,299
流動資産合計	9,989,273	9,545,415
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,271,442	1,205,423
機械装置及び運搬具(純額)	45,308	37,882
工具、器具及び備品(純額)	191,608	136,602
土地	644,942	644,942
有形固定資産合計	2,153,301	2,024,850
無形固定資産		
のれん	376,582	320,095
リース資産	35,605	16,317
その他	47,460	59,926
無形固定資産合計	459,648	396,339
投資その他の資産		
投資有価証券	1,254,086	1,638,832
長期貸付金	141,081	123,742
破産更生債権等	18,704	18,704
その他	169,997	172,710
貸倒引当金	△58,913	△61,682
投資その他の資産合計	1,524,957	1,892,307
固定資産合計	4,137,906	4,313,497
繰延資産		
社債発行費	399	-
繰延資産合計	399	-
資産合計	14,127,579	13,858,913

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	325,017	349,635
1年内返済予定の長期借入金	328,614	69,996
1年内償還予定の社債	10,000	-
リース債務	22,733	11,417
未払費用	384,099	272,433
未払法人税等	132,435	96,131
未払消費税等	171,697	22,408
役員賞与引当金	17,170	19,520
工事損失引当金	46,044	37,346
その他	191,278	279,369
流動負債合計	1,629,090	1,158,257
固定負債		
社債	20,000	-
長期借入金	500,331	75,849
リース債務	13,379	5,120
役員退職慰労引当金	7,326	2,030
退職給付に係る負債	65,301	94,480
繰延税金負債	74,952	192,810
固定負債合計	681,289	370,290
負債合計	2,310,379	1,528,548
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,072,352	3,072,352
資本剰余金	4,124,646	4,124,646
利益剰余金	4,990,544	5,136,302
自己株式	△632,152	△603,318
株主資本合計	11,555,392	11,729,983
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	193,367	485,023
為替換算調整勘定	65,079	71,966
退職給付に係る調整累計額	△99,873	△72,935
その他の包括利益累計額合計	158,573	484,053
新株予約権	21,263	29,407
非支配株主持分	81,970	86,919
純資産合計	11,817,199	12,330,364
負債純資産合計	14,127,579	13,858,913

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	4,962,011	5,449,127
売上原価	3,253,852	3,328,742
売上総利益	1,708,159	2,120,385
販売費及び一般管理費	1,437,480	1,738,564
営業利益	270,678	381,821
営業外収益		
受取利息	8,568	10,893
受取配当金	16,921	23,250
補助金収入	-	39,944
その他	15,651	8,198
営業外収益合計	41,141	82,286
営業外費用		
支払利息	2,887	6,026
手形売却損	2,355	2,510
環境対策費	4,685	-
その他	4,631	3,234
営業外費用合計	14,560	11,771
経常利益	297,259	452,336
特別損失		
投資有価証券評価損	44,035	-
特別損失合計	44,035	-
税金等調整前四半期純利益	253,224	452,336
法人税等	83,231	154,530
四半期純利益	169,993	297,805
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,329	3,726
親会社株主に帰属する四半期純利益	174,322	294,079

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	169,993	297,805
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	139,382	291,655
為替換算調整勘定	△99,106	8,109
退職給付に係る調整額	47,920	26,937
その他の包括利益合計	88,195	326,702
四半期包括利益	258,189	624,508
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	276,784	619,559
非支配株主に係る四半期包括利益	△18,595	4,949

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

・税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プロセス 事業	ウェブ 事業	検査機 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,797,161	2,125,139	1,024,848	4,947,148	14,863	4,962,011	—	4,962,011
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,797,161	2,125,139	1,024,848	4,947,148	14,863	4,962,011	—	4,962,011
セグメント利益 又は損失 (△)	259,919	393,185	△12,668	640,436	△90	640,346	△369,668	270,678

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械部品製作事業、電子機器組立事業などを含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△369,668千円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プロセス 事業	ウェブ 事業	検査機 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,974,816	2,413,129	940,403	5,328,348	120,779	5,449,127	—	5,449,127
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,974,816	2,413,129	940,403	5,328,348	120,779	5,449,127	—	5,449,127
セグメント利益 又は損失(△)	388,643	586,252	△28,115	946,780	△98,339	848,441	△466,620	381,821

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械部品製作事業、電子機器組立事業などを含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△466,620千円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。